

平成29年度 第23回

ユニオン造形デザイン賞公募

●審査員
古山 正雄

●公募テーマ
「中産階級の美学・再び」



CALL FOR ENTRY, FROM MAY. 01 TO JUN. 30, 2017.

www.artunion.co.jp/design

今回はやや抽象的な課題に応じて頂きたいと思います。すなわち、喫緊の社会的課題を解決するために、建築の可能性を問い直し、課題解決のための魅力ある建築空間を提示してください。周知のように、経済のグローバル化や新自由主義的傾向によって、世界の国々で激しい階層分化が起こっています。日本においても、急激に中間層が分解し、少数の富裕層と多数の貧困層が生じています。こうした中間層の分解は、社会の不安定化を招き、生活の質の劣化や精神面での荒廃、人々の劣化現象にもつながっています。我々の課題は、新たな中間層の再構築による社会の安定化です。そして新中間層の生活基盤を支えるのは、言うまでもなく建築であり、住宅です。人々に希望を与える建築の力を示す案を求めます。

アプローチや解釈は自由です。

○例えば、中間層から転落した貧困層の中であって、清く、貧しく、美しく、生きるための住宅とはどのようなものか？

- 例えば、中間層から転落した自分が、再び競争社会の階段を駆け上がり、リベンジを達成した先にある住宅とはどのようなものか？
- 激しい競争社会にあって、高い精神性を失わないための空間とはどのようなものか？
- 失われた時を求めて、かつて富裕な時代を過ごした記憶の中の空間があなたにとっての理想郷ならば、それを示していただきたい。
- ライフスタイルに即して考えるならば、育児、親の介護、男女共同参画、自らの高齢化といった要件を整理し、外部の社会システムにゆだねるのか、またはIoTやロボットやAI技術などを駆使して、住宅内部に取り込んで解決するのか？ 家族への愛情の示し方を、建築を通して図化して下さい。

かつて繁栄を謳歌した一億総中流時代も過ぎ去り、いまや不安に満ちた中間層に自信を与え、希望をよみがえらせる魅力的な建築や住宅や生活空間とはどのようなものかを提案してください。
審査員 京都工芸繊維大学長 古山 正雄

ユニオン造形デザイン賞

大賞 1点 …… 賞金 100万円
奨励賞 2点 …… 各賞金 50万円

※但し、審査の結果、賞名・賞金が変更される場合があります。

●作品応募期間

受付開始 平成 29年 5月 1日(月)

締 切 り 平成 29年 6月30日(金)

※当日消印有効

●応募資格

学生(大学生、大学院生、専門学校生)及び実務経験10年以上の社会人。但し、1987年1月1日以降に生まれた方とします。

●応募方法

ユニオン造形文化財団デザイン賞WEBサイトをご覧ください。

www.artunion.co.jp/design

●応募申請書の取得と手続き

WEBサイトより応募申請書をダウンロードしていただき、記載の応募詳細をご確認のうえ、必要事項を記入しエントリーしてください。

●審査結果通知／表彰

平成 29年 7月中旬(予定)に受賞者のみ文書で通知。

平成 29年 9月中旬(予定)に受賞者の表彰式を行います。

※応募作品で既に発表されたもの、同一、類似のものは、審査の対象から除外され受賞発表後であっても受賞は取り消しとなります。

お問い合わせ

〒550-0015 大阪市西区南堀江2-13-22

公益財団法人 ユニオン造形文化財団 デザイン賞係

Tel.06-6532-8764 kuwata@artunion.co.jp